番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
209	英語コミュニケーションⅡ	2	3	工業	必修

履修条件、選択上の留意事項等

必修

科目の目標

- 日常的・社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、
1. 必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
 2. 必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握したり、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
 3. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
 4. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
 5. 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

評価の観点とその趣旨

① 知識・技能	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、言語の背景にある文化などを理解している。
② 思考・判断・表現	英語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。
③ 主体的に学習に取り組む態度	英語によるコミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。

評価の方法

授業への取り組み、定期テスト、パフォーマンステスト、自己評価、課題提出

学習計画

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	Lesson6	Seed for Future Generations (伝統野菜を未来に繋ぐ)□ □	京野菜について読んだり聞いたりして理解し、意見を述べる技能が身についている。学んだことを活用して地元で有名な場所やものについて話したり書いたりしている。 動詞の目的語になるif節を理解している。	○	○	○
5	Lesson6			○		
6	Lesson7	"Over the Wall (アートで世界を繋ぐ)"□ □	アートで人をつなぐ活動をしているミヤザキケンスケさんについての文章を読んだり聞いたりして、理解し、意見を述べる技能が身についている。学んだことを活用して世界の人々と交流する方法について英語で伝えることができる。 関係副詞(when, where)を理解している。	○	○	○
7	Lesson7			○		
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとめりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
9	Lesson8	"Inspiration from Nature (自然のデザインに学ぶ)"□ □	自然界のデザインをヒントに開発された製品についての文章を読んだり聞いたりして理解し、そのような製品について書いたり、伝えたりする技能が身についている。 知覚動詞を理解している。	○	○	○
10	Lesson8			○		

11	Lesson9	<p>"The Bitter Truth behind Chocolate (甘いチョコレートの苦い現実)"</p> <p>□</p>	<p>チョコレートをめぐる社会問題について書かれた文章を読んだり聞いたりして理解し、社会的な問題について自分の意見を書いたり、伝える技能を身に付けている。</p> <p>使役動詞を理解している。</p>	○	○	○
12	Lesson9			○		
1	Lesson10	<p>"Fighting Angel (ナイチンゲール)"</p> <p>□</p> <p>□</p>	<p>ナイチンゲールに関する文章を読んだり聞いたりして理解し、人を助ける職業について英語で説明する能力が身についている。学んだことを活用して、自分が将来どのように人を助けるかについて話して伝え合っている。</p> <p>分詞構文を理解している。</p>	○	○	○
2	Lesson10			○		